

## 「食べることは生きること」 野尻小ではなちゃんのみそ汁教室

12月9日、野尻小学校で6年生を対象に書籍や映画にもなった「はなちゃんのみそ汁」のモデルの安武はなさんを講師に迎え、はなちゃんのみそ汁教室が行われました。児童は、安武さんの指導を受けながら、かつお節を削り出汁を取ってみそ汁を調理。授業は料理を学ぶだけではなく「食べることは生きること」を学ぶ機会となりました。



10日には「はなちゃんのみそ汁」著者の安武信吾さんを迎えて、児童や保護者などに講演会を開催。家族との関わり方や食育推進などについて講演しました

## 地域福祉のバトン未来へつなぐ 民生委員・児童委員式典を挙行

11月30日、民生委員・児童委員の退任式・新任式が開かれました。式では、地域福祉の一翼を担ってきた退任者30人に感謝状を贈呈し、新任者22人に委嘱状を交付。協議会の吉脇辰男会長は多忙を極めた3年間を振り返り、尽力した委員たちへ感謝。新任者代表の藤崎哲也さんは「地域のために努力したい」と、活動への決意を述べました。



一斉改選から3年、約4分の1の委員が入れ替わりました。新旧委員が互いに敬意を表し、新たな体制で地域を見守る活動がスタートします

## 地域へ感謝し未来への飛躍を誓う 栗須小学校で創立150周年式典

11月29日、栗須小学校で創立150周年記念式典が開かれました。児童や地域住民ら約300人が集い、明治6年の開校から続く歴史を回顧。園田祐一郎校長は地域の結束に感謝を述べました。最後は参加者全員で校歌を合唱して心を一つにし、懐かしい旋律と共に母校への想いを共有。会場全体で節目を祝い、未来への飛躍を誓いました。



式典では合唱や劇も行われたほか、5年生が伝統の「鉦踊り」を披露。150年の歴史の重みと未来への希望を、地域一体となって共有しました

## 須木で学ぶ火山と森のめぐみ散策ツアー

12月6日、須木地区で「どんぐりで学ぶ火山と森のめぐみ散策ツアー」が開かれました。参加者は、ガイドの解説を聞きながらの散策や炭酸飲料を使った噴火実験などを体験。どんぐり拾いや工作を通して、楽しみながら地域の自然や大地の成り立ちに理解を深めました。



## 多彩な催し満喫「体験フェス」にぎわう

12月6日、市民活動支援センターで「体験フェス」が開催されました。ステージイベントや竹細工、お茶席などの体験ブースに加え、今年はデジタルコンテンツの体験講座も実施。豚汁の振る舞いなども催され、会場は多くの来場者でにぎわいました。



## 献血推進の功績称え市内2団体が栄誉

11月14日、みやざき愛の献血運動推進県民大会が開かれ、長年にわたり献血活動に尽力した労働者が表彰されました。市内からは株式会社タイヨーサンキュー小林店が厚生労働大臣感謝状、JAみやざきこばやし地区本部が日本赤十字社金色有功章を受章しました。



## 日向灘沖地震を想定し連携確認 自助・共助で地域の防災力向上

11月16日、県の総合防災訓練に合わせて、市内各地で防災訓練が行われました。訓練は日向灘沖を震源とするM9.0の地震を想定。市は自衛隊や消防団と連携し、須木地区への空輸や物資輸送の手順を確認しました。自主防災訓練では避難所設営や炊き出しなどを実施。市民の防災意識を高め、関係機関との「顔の見える関係」構築が図られました。



須木地区では孤立集落を想定したへの空輸訓練も展開。参加者は実践的な訓練を通じ、地域防災の要となる自助・共助の大切さを再確認していました

## 冬のまちを彩る「こばやし冬まつり」

11月23日、小林駅南公園を会場に「こばやし冬まつり2025」が開催されました。今年で25回目の開催となったまつりには多くの家族連れが来場。鮮やかなイルミネーションを撮影するなどして楽しみました。イルミネーションは1月16日まで点灯予定です。



## 運動公園へ「避雷球」落雷対策で寄贈

関東在住の出身者でつくる関東小林会の大山英雄さんから、総合運動公園に落雷抑制装置（避雷球）が寄贈されました。



近年増加する雷雨から、屋外で活動する子どもたちの安全を守るのが目的。11月15日、同園の陸上競技場屋根と遊具広場への設置が完了しました。

## 「昭和の小林」ヘタイムスリップ 写真や民具でたどる昭和100年

昭和100年の節目を記念した「写真で振り返る昭和の小林」が、11月23日から25日まで中央公民館で開催されました。会場には、昭和2年の小林大火の記録や当時の街並み、民具など市所蔵の約290点が展示。昭和40年代の地図と現在の風景を見比べるコーナーもあり、来場者は世代を超えて当時の姿を懐かしみ、思いをはせました。



富崎市から訪れた申斐穂子さんは「記憶が薄れていくばかりだった、幼少期を過ごした小林の風景を少しだけ思い出すことができた」と話しました

## 南小児童が能登町に横断幕を寄贈

11月23日、南小学校の児童が、能登半島地震で被災した姉妹都市・石川県能登町の吉田義法町長へ横断幕を贈りました。復興への願いを込め、児童たちの手形で彩られた横断幕。被災地を思う温かいエールが届けられ、両都市の絆を深める交流となりました。



## 秀峰高校福祉科×茶飲ん場水流迫 高校生と地域住民が笑顔で交流

12月3日、小林秀峰高校で同校福祉科の2年生と茶飲ん場水流迫が交流会を開催しました。これは、地域との交流を図りながらコミュニケーション能力を身につけることを目的に生徒が企画から運営を行うもの。参加者は、四字熟語クイズなどの脳トレや西諸弁ラジオ体操、誕生会などで和気あいあいと交流を深めています。



司会を務めた黒木琉歌さん（2年）は「みんなで考えて準備してきたので喜んでもらえてうれしい。今日学んだことを将来に役立てたい」と話しました

## 華麗な技で魅了する小林新体操演技会

12月6日、市民体育館で小林新体操演技会が開催されました。演技会では、小林秀峰高校や小林新体操クラブなど地元のチームが演技したほか、鹿児島実業高校も演技を披露。選手たちは、華麗な技で観客を魅了し、会場から大きな拍手が送られました。



## 今年も上出来！めろめろメロン初競り

12月4日、JAみやざきこばやしメロン部会が宮崎中央卸売市場で令和8年産めろめろメロンの解禁PRを行いました。



競りでは、A 2・3L（5玉入り）1箱が15万円の高値で取り引き。今年は例年よりも外觀、甘味ともに上々の仕上がりで、6月まで出荷予定です。

## 国スポ・障スポへの関心高まる 市内小学校でパラスポーツ体験会

12月2日、紙屋小学校と小林小学校でUMKスポーツフェスタ「パラスポーツ体験会」が開催されました。児童たちは、パラスポーツの指導員から指導を受け、白い的球に自分のカラーボールを近づけて点を競い合うボッチャなど4競技を体験。令和9年に小林市でも開催される宮崎国スポ・障スポについて興味や関心を深めています。



前田健吾さん（小林小5年）は「普段、体験できないパラスポーツを体験できて良かった。宮崎国スポ・障スポでは応援を頑張りたい」と笑顔で話しました

## 映画「木の上の軍隊」特別上映会 平和尊ぶ心、満員の会場に響く

12月13日、文化会館で映画「木の上の軍隊」特別上映会がありました。戦後、沖縄のガジュマルの木の上で2年間を生き抜いた本市出身の山口静雄さんと沖縄県の佐次田秀順さんがモデルの本作。市民からの熱烈な要望により実現した今回の上映は、戦争の記憶と生きる希望を深く問いかけ、満員の観客はその姿に静かに見入っていました。



上映後のトークショーには山口さん・佐次田さんの遺族が登壇。壮絶な実体験と平和への切なる思いに、超満員の会場から惜しみない拍手が送られました